

平成19年10月31日

各 位

会 社 名	セガサミーホールディングス株式会社
代 表 者 名	代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 里 見 治
	(コード番号 6460 東証第一部)
問 合 せ 先	執 行 役 員 堀 田 正 君
	(電話番号 03-6215-9955)

当社子会社（株式会社セガトイズ）の
平成20年3月期通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ

当社の子会社である株式会社セガトイズは、平成19年4月27日の決算発表時に公表した平成20年3月期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）の通期の連結および個別の業績予想について、別添のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、当社業績への影響は軽微であり、本件による当社業績予想の修正はございません。

《添付資料:セガトイズ開示資料「平成20年3月期 通期業績予想の修正(連結・個別)に関するお知らせ」》

以上



平成 19 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 セ ガ ト イ ズ
代 表 者 名 代表取締役社長 國 分 功
(JASDAQ コード番号 7842)
問 合 せ 先 取締役 財務経理部長 山重 佳治
電 話 番 号 (0 3) 5 8 2 2 - 6 2 4 4

平成 20 年 3 月期 通期業績予想の修正（連結・個別）に関するお知らせ

当社は、平成 19 年 4 月 27 日「平成 19 年 3 月期 決算短信」において発表いたしました平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）通期の連結および個別の業績予想につきまして、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期通期連結業績予想の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

（1）連結業績予想

（単位：百万円）

	売上	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	17,500	677	650	340
今回修正予想（B）	17,500	302	300	116
増 減 額（B－A）	0	△375	△350	△224
増 減 率	0%	△55.4%	△53.8%	△65.9%
（ご参考）前 期 実 績 （平成 19 年 3 月通期）	15,206	333	284	114

（2）修正理由

最大商戦期である年末年始商戦に向けて販売促進活動を積極的に行うなか、ファミリーエンターテインメント関連においては積極的な新製品の投入および海外での「i d o g」シリーズ製品などが好調に推移する見通しです。また、NEWコンテンツ関連においては「古代王者 恐竜キング D キッズ・アドベンチャー」シリーズ製品および海外でヒットの兆しが見え始めている「爆丸」シリーズ製品、さらに、本年 2 月に設立した子会社である株式会社タイヨーによるラジコン玩具関連製品などが、好調に推移する見通しです。一方、エデュテイメント関連における知育玩具「アドバンスピコ ビーナ」の販売低調、ファミリーエンターテインメント関連における、生産不具合に起因する一部新製品の発売遅延および中止による国内販売の伸び悩み、およびその他関連における AM 機器・カプセル玩具・玩菓・ライセンスに関する販売の計画未達が予想されることから、結果として当期通期の連結売上高は、当初予想通りの水準となる見込みです。

通期の連結利益に関しましては、NEWコンテンツ関連および株式会社タイヨーにおいて当初計画に対して増加の見込みである反面、エデュテイメント関連における販売低調、ファミリーエンターテインメント

関連における国内での大人向けエンターテインメント玩具製品の新規チャネルでの販売拡大による推進費用の増加および利益率の低い海外販売の増加による利益率の低下により、当初見込みを大きく下回る見込みです。その結果、営業利益 302 百万円、経常利益 300 百万円を見込みます。当期純利益につきましては、116 百万円となる見込みです。

2. 平成 20 年 3 月期通期個別業績予想の修正 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(1) 個別業績予想

(単位：百万円)

	売上	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	15,500	617	600	310
今回修正予想 (B)	15,000	193	200	96
増 減 額 (B－A)	△500	△424	△400	△214
増 減 率	△3.2%	△68.7%	△66.7%	△69.0%
(ご参考) 前 期 実 績 (平成 19 年 3 月通期)	15,143	356	306	121

(2) 修正の理由

最大商戦期である年末年始商戦に向けて販売促進活動を積極的に行うなか、ファミリーエンターテインメント関連においては積極的な新製品の投入および海外での「i d o g」シリーズ製品などが好調に推移する見通しです。また、NEWコンテンツ関連においては「古代王者 恐竜キング D キッズ・アドベンチャー」シリーズ製品および海外でヒットの兆しが見え始めている「爆丸」シリーズ製品などが、好調に推移する見通しです。一方、エデュテインメント関連における知育玩具「アドバンスピコ ビーナ」の販売低調、ファミリーエンターテインメント関連における、生産不具合に起因する一部新製品の発売遅延および中止による国内販売の伸び悩み、およびその他関連における AM 機器・カプセル玩具・玩菓・ライセンスに関する販売の計画未達が予想されることから、結果として当期通期の売上高は、当初予想通りの水準となる見込みです。

通期の利益に関しましては、NEWコンテンツ関連において当初計画に対して増加の見込みである反面、エデュテインメント関連における販売低調、ファミリーエンターテインメント関連における国内での大人向けエンターテインメント玩具製品の新規チャネルでの販売拡大による推進費用の増加および利益率の低い海外販売の増加による利益率の低下により、当初見込みを大きく下回る見込みです。その結果、営業利益 193 百万円、経常利益 200 百万円を見込みます。当期純利益につきましては、96 百万円となる見込みです。

※上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上